

DeLonghi

Drip Coffee Maker

デロンギ
ドリップコーヒーマーカー

家庭用

型式番号

ICM14011J

※本体の型式番号「ICM14011J」の後に続くアルファベットは、色番号を表すものです。

取扱説明書

保証書付



もくじ

使う前に	安全上のご注意	2
	各部のなまえとはたらき	4
	初めて使う前に	5
使う	コーヒーをいれる	6
	お手入れ	8
こんなときは	故障かな？	9
	仕様	10
	別売品	10
	アフターサービスについて	11

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書（裏表紙）とともに大切に保管してください。

本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。



警告

「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。



注意

「軽傷を負う可能性、または物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



指 示

必ずしなければいけないことを示します。



禁 止

してはいけないことを示します。

警告



指 示

- **定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使う**
(火災の原因)

- **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
(火災・感電の原因)

取り付けの悪いコンセント、延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使わないでください。

- **電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く**
(火災の原因)

- **異常・故障時には直ちに使用を中止する**
(火災・感電・やけどの原因)

＜異常・故障例＞

- ・電源プラグ・コードが異常に熱くなる
- ・異常な音やにおいがする
- ・本体に破損や変形がある
- ・本体から水や蒸気が漏れる

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、当社テクニカルセンターに点検、修理を依頼してください。



禁 止

- **分解・修理・改造しない**
(火災・感電・やけどの原因)

- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
(感電の原因)

- **子供など取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない**
(火災・感電・やけど・けがの原因)

- **電源プラグ・電源コードを破損させない**
(火災・感電の原因)

- ・傷付けたり、延長するなど加工したりしない
- ・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- ・高温部に近づけたり、水につけたり、水をかけたりしない

電源プラグ・電源コードに破損、変形などの異常があるときはすぐに使用を中止し、販売店、または当社テクニカルセンターへ点検・交換を依頼してください。

- **抽出中に本体ふたを開けたり、触ったりしない**
(やけどの原因)

- **保温プレートにガラスジャグがない状態で使わない**
(やけどの原因)

注意



指 示

- 使わないときは電源プラグをコンセントから抜く
(火災の原因)
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く
(火災・感電の原因)
- お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷えてから行う
(感電・やけど・けがの原因)

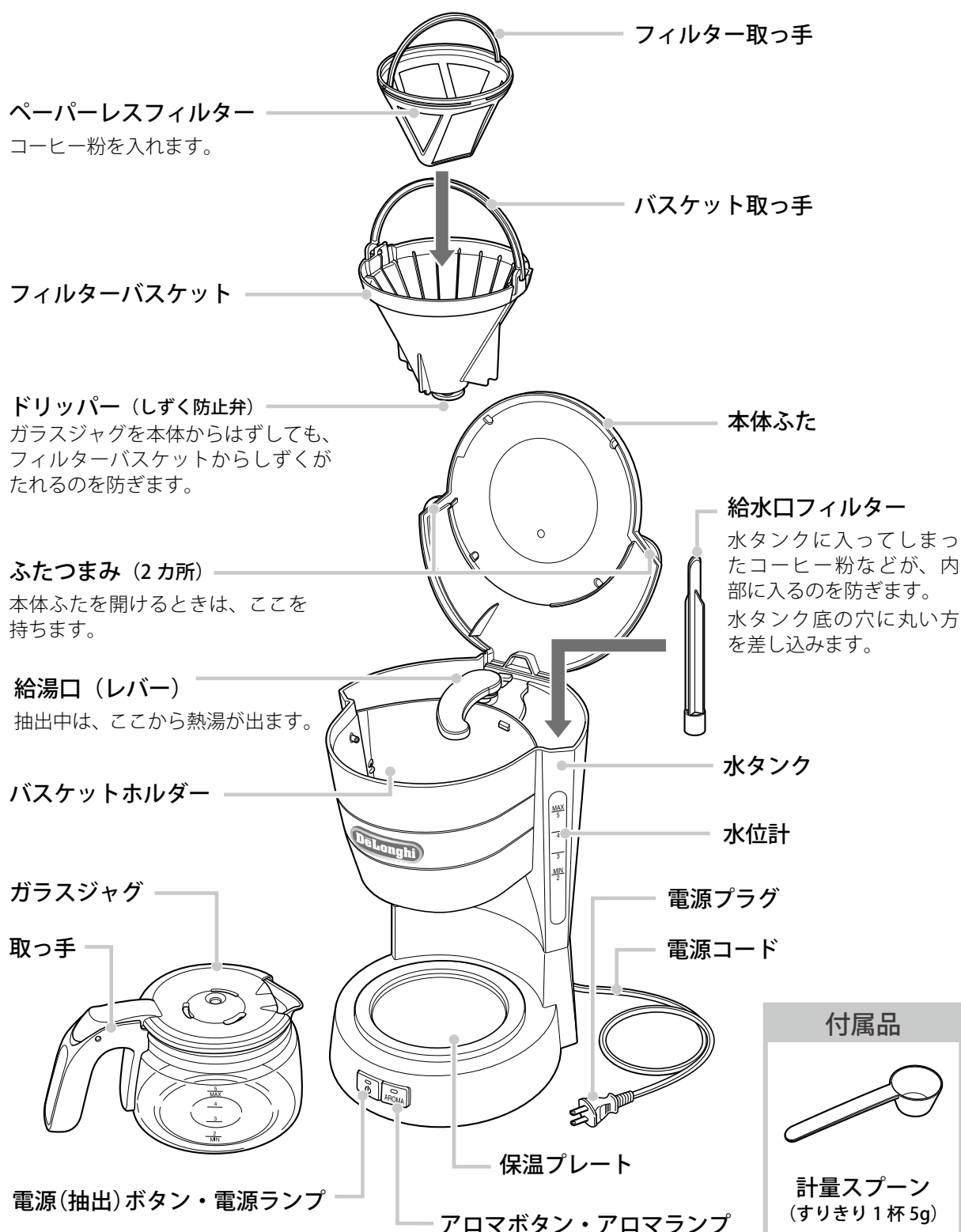


禁 止

- 不安定な場所で使わない
(火災・やけどの原因)
- 抽出中はガラスジャグを抜かない
(やけどの原因)
- ガラスジャグを載せたまま本体を移動させない
(けが・やけどの原因)
- ガラスジャグを直接火にかけたり、電子レンジで加熱したり、傷つけたり、硬いものにぶつけたりしない
(破損の原因)
- 抽出後、すぐに水タンクに水を入れない
(やけどの原因)
- 電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは、保温プレートを触らない
(やけどの原因)
- 本体は水につけたり水をかけたりしない
(やけど・感電・けがの原因)

各部のなまえとはたらき

- ご使用前に「お手入れ（8 ページ）」を参照して、各部を洗ってください。
- お買い上げ後、製品に損傷がないこと、付属品がそろっていることを確認してください。



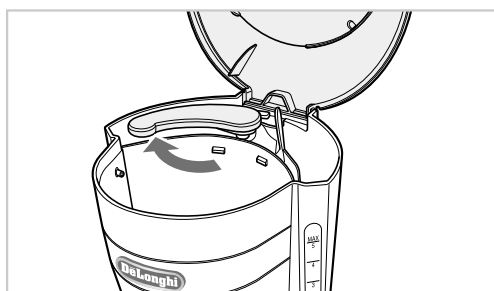
初めて使う前に

- 初めて使うときや長期間使わなかったときは、コーヒー粉を入れずに水だけで2回抽出し、内部を洗浄してください。

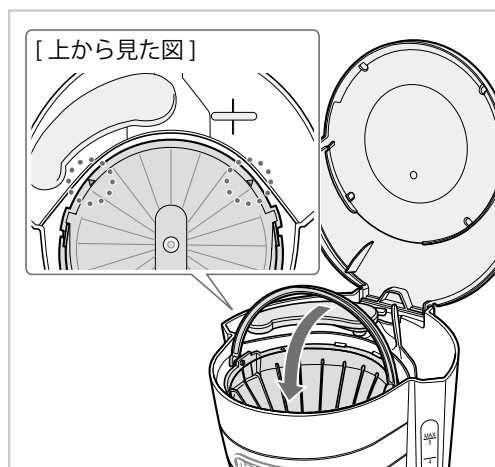
1 バスケット取っ手を持ち、①、②の手順でバスケットホルダーに取り付ける

※フィルターバスケットを取り付けるときは、ガラスジャグを保温プレートからはずしてください。

- ① 給湯口（レバー）を矢印の方向に回転させる



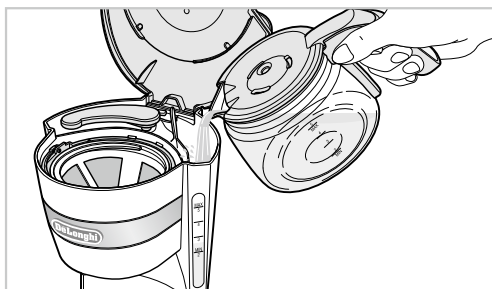
- ② ▲マークをタンク側に向けてバスケットホルダーに入れ、取っ手を矢印の方向に倒す



- 必ずフィルターバスケットがバスケットホルダーに正しい向きに入っていることを確認し、取っ手を手前に倒して固定してください。無理に倒すと破損のおそれがあります。

2 ペーパーレスフィルターをフィルターバスケットに入れる

3 水タンクの水位計「MAX」まで水を入れ、空のガラスジャグを保温プレートの上に載せる



- ドリッパー（しずく防止弁）がガラスジャグ上部に正しく接触していないと、弁が開かないためにコーヒーが抽出されません。この場合、フィルターバスケットを正しく取り付け直してください。
- 水タンクに水以外（お湯・牛乳など）を入れないでください。（故障やふきこぼれてやけどの原因）
- ガラスジャグが保温プレートからはみ出していないことを確認してください。

4 本体ふたを閉めて電源プラグをコンセントに差し込み、を押す

- 「ピーッ」と鳴って、電源ランプ（赤）が点灯し、洗浄が始まります。

5 「ピーッ、ピーッ、ピーッ」と鳴って洗浄が終わったら、を押して電源を切り、ガラスジャグの湯を捨てる

6 5分以上たってから手順3～5をもう一度行う

コーヒーをいれる

- 初めて使うときや長期間使わなかったときは、コーヒー粉を入れずに水だけで2回抽出し、内部を洗浄してください。(5 ページ)
- 中挽きのコーヒー粉をお使いください。



水を入れる



コーヒー粉を入れる

1 準備

① フィルターバスケットとペーパーレスフィルターを取り付ける

(フィルターバスケットの取り付けかたは5ページを参照してください)

- 給水口フィルターが取り付けられていることを確認してください。

② 水位計の目盛に合わせて水タンクに水を入れ、ガラスジャグを保温プレートの上に載せる

- 水位計「MAX」以上の水を入れないでください。
- ガラスジャグの目盛は、でき上がりの目安です。水位計の目盛とは多少異なります。

③ ペーパーレスフィルターにコーヒー粉を入れ、本体ふたを閉める

[カップ数とコーヒー粉の量の目安]

カップ数	コーヒー粉の量* 計量スプーン (すりきり)
2 カップ	2 杯～ 4 杯
3 カップ	3 杯～ 6 杯
4 カップ	4 杯～ 8 杯
5 カップ	5 杯～ 10 杯

* 計量スプーン 10 杯を超える量を入れないでください。


2 抽出する

④ 電源プラグをコンセントに差し込み、を押す

- ガラスジャグが保温プレートからはみ出していないことを確認してください。
- 「ピーッ」と鳴って、電源ランプ (赤) が点灯し、抽出が始まります。

さらに香り高いコーヒーをいれる (アロマ機構)

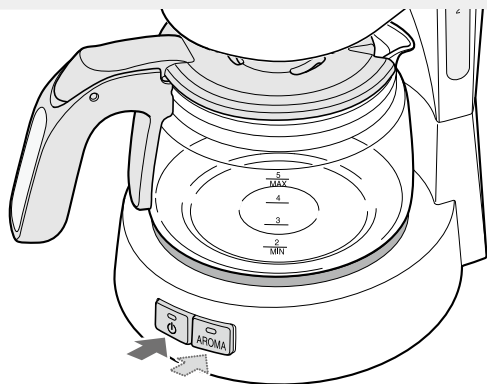
手順④で  を押した後、 を押す

- アロマランプ (緑) が点灯し、蒸らしながら抽出する間欠抽出に切り替わります。
- ゆっくり抽出することで、コーヒーの味と香りがより良くなります。抽出カップ数が少ないときにおすすめです。
- 取り消す場合は、もう一度  を押してください。アロマランプが消灯し、連続抽出に切り替わります。

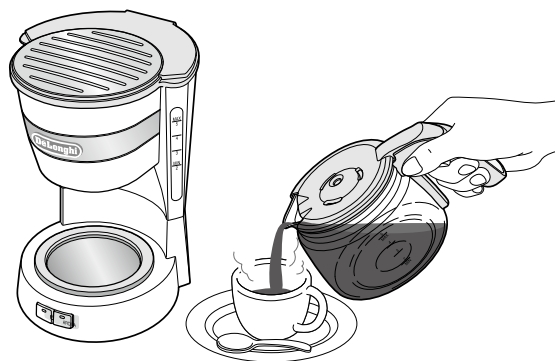
途中で抽出を止めるときは

 を押して電源を切る

- 抽出が完全に止まってから、ガラスジャグをはずしてください。



ボタンを押す



できあがり

3 抽出が終わったら

⑤ 抽出が終わったら、コーヒーをカップにそそぐ

- 「ピーツ、ピーツ、ピーツ」と鳴って、給湯が完了し、保温モードに切り替わります。給湯後、抽出が完了するまで、30～60秒ほどお待ちください。豆の量、豆の挽き具合、抽出量によってフィルターバスケット内にお湯が残ることがあります。
- 保温モードになった後、約40分後に電源が自動で切れます。(オートオフ)

抽出開始 抽出完了

オートオフ (電源切)

抽出

保温 (約40分)

- コーヒーは熱くなっていますので、やけどに注意し、カップにゆっくりそそいでください。

⑥ を押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

続けてコーヒーをいれるときは

手順⑥の後、5分以上たってからいれる



注意

- すぐに水タンクに水を入れると、勢いよく蒸気が出て、やけどの原因になります。



おいしいコーヒーを
お楽しみいただくために

- 抽出後なるべく30分以内に飲みましょう
長時間保温プレートに載せたままにすると、風味が悪くなります。
- 新しいコーヒー豆を使いましょう
2～3週間程度で使いきれの量を買ひ、密閉できる容器に入れて冷暗所で保存します。
- お好みのコーヒー豆を見つけましょう
種類や焙煎度合によって、コーヒー豆にはそれぞれ特徴があります。酸味や苦味、コク、香りなどのお好みをお店のの人に伝えて、アドバイスをもらうのもよいでしょう。

ヒント▶▶

抽出されたコーヒーにコーヒー粉が混じる場合は、ペーパーレスフィルターの代わりに「1×2」または「102」サイズのペーパーフィルターをご使用ください。

お手入れ

- 電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷めてからお手入れしてください。

- ベンジン・シンナー・アルコール・研磨剤・漂白剤は、使わないでください。
(傷が付いたり、変色したりする原因)
- たわし類・メラミンスポンジは、使わないでください。
(傷が付く原因)
- 食器洗い機・食器乾燥機は使わないでください。
(変形する原因)

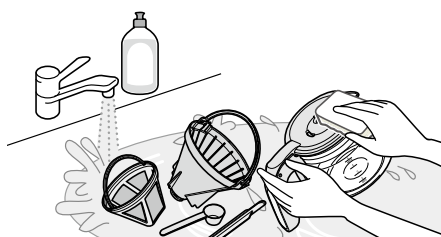
水洗いできないもの

- 本体



- ペーパーレスフィルター
- フィルターバスケット
- 給水口フィルター
- ガラスジャグ
- 計量スプーン

1. スポンジと台所用中性洗剤で洗い、水ですすぐ



2. 乾いた布巾で水分を拭き取り、乾燥させる

- ペーパーレスフィルターが目詰まりした場合は、少量の台所用中性洗剤を入れたぬるま湯につけてから、洗ってください。

本体



よく絞った布巾で拭いた後、乾いた布巾で拭く



石灰の除去

半年に1回程度、定期的に行う

使っているうちに、水に含まれる石灰成分が内部に付着します。故障の原因になるため、定期的に石灰の除去をしてください。

1. フィルターバスケットを取り付ける
2. 水位計の「MAX」の位置まで水を入れ、空のガラスジャグを保温プレートの上に載せる
3. 食酢大さじ1杯を水タンクに加え、本体ふたを閉める
4. 電源プラグをコンセントに差し込み、を押す
5. 抽出が終わったら、を押して電源を切り、ガラスジャグの湯を捨てる
6. 5分以上たってから、食酢のにおいが消えるまで、水だけで2回以上抽出を繰り返す

故障かな？

症状	確認すること	対処のしかた
湯が出ない	水タンクに水は入っていますか？	水位計の目盛 2 ～ 5 に合わせて、水タンクに水を入れてください。(6 ページ)
コーヒーがもれる	フィルターバスケットは正しく取り付けられていますか？	フィルターバスケットをバスケットホルダーに取り付け直してください。(5 ページ)
	ドリッパー部分のゴムが外れたり、傷ついたりしていませんか？	お求めの販売店または当社テクニカルセンターにご相談ください。
	ペーパーレスフィルターが目詰まりしていませんか？	お手入れしてください。(8 ページ)
抽出に時間がかかる	石灰の除去をしていますか？	定期的に石灰の除去をしてください。(8 ページ)
	ペーパーレスフィルターが目詰まりしていませんか？	ペーパーレスフィルターをお手入れしてください。(8 ページ)
	フィルターバスケットにコーヒー粉が詰まっていますか？	フィルターバスケットをお手入れしてください。(8 ページ)
コーヒーにコーヒー粉が混じる	細挽きのコーヒー粉を使っていますか？	中挽きのコーヒー粉でいれてください。 気になる場合は、ペーパーフィルターをお使いください。(7 ページ)
コーヒーがガラスジャグからあふれる	水タンクの水位計「MAX」より多く水を入れていませんか？	水位計の目盛 2 ～ 5 に合わせて、水タンクに水を入れてください。(6 ページ)

仕様

型式番号	ICM14011J
電圧／周波数	交流 100V 50/60Hz
消費電力	600W
外形寸法（約）	幅 180 × 奥行き 200 × 高さ 270mm
質量（約）	1.2kg
水タンク最大容量 「MAX 5」	650mL
ガラスジャグ	ホウケイ酸ガラス
付属品	計量スプーン
原産国	中国



この製品は欧州 RoHS 指令に適合した製品です。

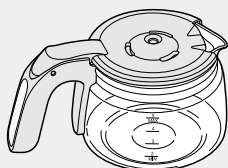
欧州 RoHS 指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

別売品

- 以下の部品は、お求めの販売店または当社オンラインショップでご購入いただけます。

■ ガラスジャグ



■ ペーパーレスフィルター



デロンギ・ジャパン オンラインショップ URL <http://shop-casa-delonghi.com/>

アフターサービスについて

- 1) 使用中に異常(★)が生じた場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、9ページ「故障かな？」を調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（下記参照）にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体に水などの液体をこぼした
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2) 万一、故障／損傷した場合は

保証書に記載されている販売店に、1. お買い上げ日 2. 製品名と型式番号 3. 故障の状況 を連絡のうえ、修理を依頼してください。

なお、当社テクニカルセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモと、保証期間内の場合は、保証書を商品パッケージ（梱包箱）に同封してください。

※送り先については、事前にお電話あるいはホームページ（下記参照）にてご確認ください。

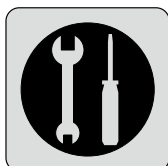
- 3) 保証期間中（1年）は、保証書に記載されているものについては、無料で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有料で修理いたします。

4) 補修用性能部品の保有期間について

当社では、このドリップコーヒーマーカーの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5) まごころ点検のおすすめ



長い期間でご利用いただくために、専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、当社テクニカルセンターまでお問い合わせください。

※下の枠内に、お買い上げ日を記入してください。点検の目安になります。

お買い上げ日 年 月 日

6) デロンギ再資源化システムについて

ご不要になった製品は、下記の要領に従い、当社テクニカルセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。



送料について：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。あらかじめご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアークッションに包んでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送り先については、事前にお電話あるいはホームページ（下記参照）にてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社テクニカルセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン テクニカルセンター（受付時間：土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 17:00）

コールセンター

TEL. 0120-804-280 / FAX. 0120-956-020

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町 13-13

ホームページでのお問い合わせ（URL） <http://www.delonghi.co.jp/support>